

2024 WHS Annual Meeting / SAWC Spring Meetingに参加して

慶應義塾大学医学部形成外科学教室

石井 龍之

本年 5 月 14 日～ 17 日にかけて、米フロリダ州オーランドで開催された 2024 WHS Annual Meeting / SAWC Spring Meeting に参加してきましたのでご報告させていただきます。WHS は 1989 年 5 月に設立された比較的新しい学会ではありますが、年々参加人数も増加し現在では創傷治癒の臨床・基礎科学に焦点を当てた世界最大規模の会議となっています。今回の会場は、ディズニーワールドリゾートで有名なフロリダ州オーランドにある Orlando World Center Marriott でしたが、私自身は初めての参加ということもありその規模の大きさに圧倒されました。学会は 4 日間にわたって開催されており、シンポジウムでは Michael Longaker はじめ創傷治癒研究の第一線で活躍する世界トップレベルの研究者達が一堂に会し、活発な議論を交わしていたのがとても印象的でした。プログラムは基礎研究だけではなく、臨床系やデバイス開発関連など基礎・臨床・産業と幅広い内容で構成されていました。各分野の招待講演からなるシンポジウム、一般演題、ポスターセッションと基本的な枠組みは日本と同様でしたが、とりわけ驚いたのがポスターセッションの賑わいでした。一緒に学会参加した同教室の高谷先生は一般口演だったのに対し、私はポスター発表だったため気負う気持ちはそこまでなかったのですが、当日のあまりの盛況ぶりにもっと質疑対策をしておけばよかったと狼狽しました。ポスターセッションは 3 日目の夜に行われたのですが、会場内にはミニバーや軽食が用意されており、皆ワインを片手に談笑しながら興味あるポスターを回るパーティー形式だったため想像以上に賑わいをみせていました。このような工夫を凝らすことで議論もしやすくなり会場全体の印象も変わるのだなと感心した次第です。

WHS 全体を通いずれの発表も大変興味深いものばかりでしたが、中でも一番感銘を受けたのが Dr. Hadar Avihai Lev-Tov の発表の中で知った財団設立事業でした。彼は Hidradenitis suppurativa (化膿性汗腺炎) いわゆる膿皮症の治療を専門とする皮膚科医ですが、HS Foundation という財団を立ち上げ、膿皮症の医師向け患者向けの啓蒙活動や企業の協賛を得て研究助成を行うなど、臨床のみならず財団のトップとしても幅広い活動を行っていました。もともとは医師 2 人、患者 2 人によって設立されたようですが、現在はアメリカのみならず、ヨーロッパやカナダにも支部ができ、ノバルティスやアッヴィ、ベーリンガーインゲルハイムなど名だたる企業が協賛につくなど世界規模の組織に成長しています。私も形成外科医として膿皮症の治療に携わる機会は多々ありましたが、まさか膿皮症からこのような活動に繋がっている医師がいるなど思いもよりませんでしたので、衝撃を受けました。膿皮症という



NEWS
LETTER

日本創傷治癒学会

2024.07

No.142

●日本創傷治癒学会事務局

〒160-8582

東京都新宿区信濃町35

慶應義塾大学

医学部形成外科学教室内

tel.03-3351-4774

fax.03-3352-1054

e-mail : info@jswh.com

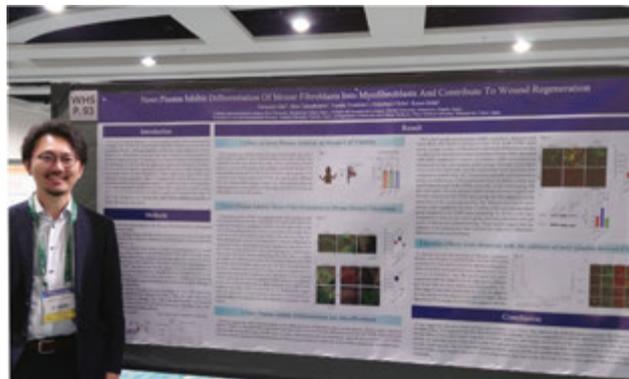
URL : <https://www.jswh.com>

日常診療に埋もれがちでありふれた疾患でも、このようにフォーカスを当てることで一大事業にも発展するという事例を知ること、物の見方ががらりと変わりました。ただ臨床を行うだけでなく産業化やビジネス展開など何かと動きの早いアメリカならではのフロンティア精神を実感するとともに、見習うべき点であると痛感しました。情報社会となり海外に行かずとも多くの知見を知り得る世の中となりましたが、精力的に活動している人間に出会い刺激を受ける機会は現地参加の醍醐味であり、国際学会参加の意義のように感じました。

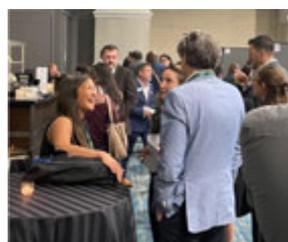
学会会場では偶然にも理事長の吉田先生とお会いする機会があり、日本創傷治癒学会の国際化に向けた熱い思いをお聞かせいただきました。日本創傷治癒学会のメンバーも WHS に参加し積極的に発信していくことは学会の発展のためにも重要であるように思います。おすすめできる学会ですので、この記事が多少なりとも参加について迷われている会員の皆様のご参考になれば幸いです。



学会会場の様子(左・上)



◀一般演題で発表する
高谷先生(左)と
筆者(右)



ポスターセッションの様子▶

第54回日本創傷治癒学会のお知らせ

会期：2024年12月5日(木)・6日(金)

会長：木山輝郎 (武蔵野徳洲会病院 特命副院長)

会場：一橋講堂 (学術総合センター)
(〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2)

テーマ：New innovations in wound healing
創傷治癒の新たなイノベーションを求めて

大会HP：<https://www.congre.co.jp/jswh54/>

実行委員長：竹内裕也 (浜松医科大学 外科学第二講座)

【事務局】

事務局長：菅野仁士 (日本医科大学 医療管理学)
武蔵野徳洲会病院
〒188-0013 東京都西東京市向台町3-5-48

【運営事務局】

株式会社コングレ
〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-13
コングレビルディング
TEL: 06-6229-2561
FAX: 06-6229-2556
E-mail: jswh54@congre.co.jp



漢方は、自然から。

漢方は、たくさんの人の手と想いを経て生まれます。

長い年月をかけて、樹木が豊かな山を育み、その山で水が蓄えられる。

山で磨かれた水が、生薬をつくるための畑に注がれ、
生産農家のみなさんによって大切に育てられる。

人が本来持っている自然治癒力を高め、生きる力を引き出すことを目的とした
漢方にとって、「自然」はいのちを強くする力そのものです。

その力をそこなうことなく、すべての人が受け取れる形にして届けたい。
そして健康に役立ててほしい。

100年以上、自然と向き合いつづけてきた私たちツムラの願いです。

自然と健康を科学する。漢方のツムラです。



www.tsumura.co.jp

資料請求・お問い合わせは、お客様相談窓口まで。
[医療関係者の皆様] 0120-329-970 [患者様・一般のお客様] 0120-329-930
受付時間 9:00~17:30(土・日・祝日は除く)